

2 . 流水調節

2. 流水調節

猿谷ダムは洪水調節機能を持たないが、空き容量の範囲内で流水調節を行い、下流熊野川流域の災害防止に努めている。

2.1 流水調節実績

平成 16 年の台風 23 号の出水時には、ダム下流の迂回路緊急復旧工事（奈良県施工）に協力するため、図 2.1 - 1 に示すとおりダムの空き容量の範囲内で下流河川に配慮した流水調節を行った。（その時の最大放流量は、約 986 m^3/s ）

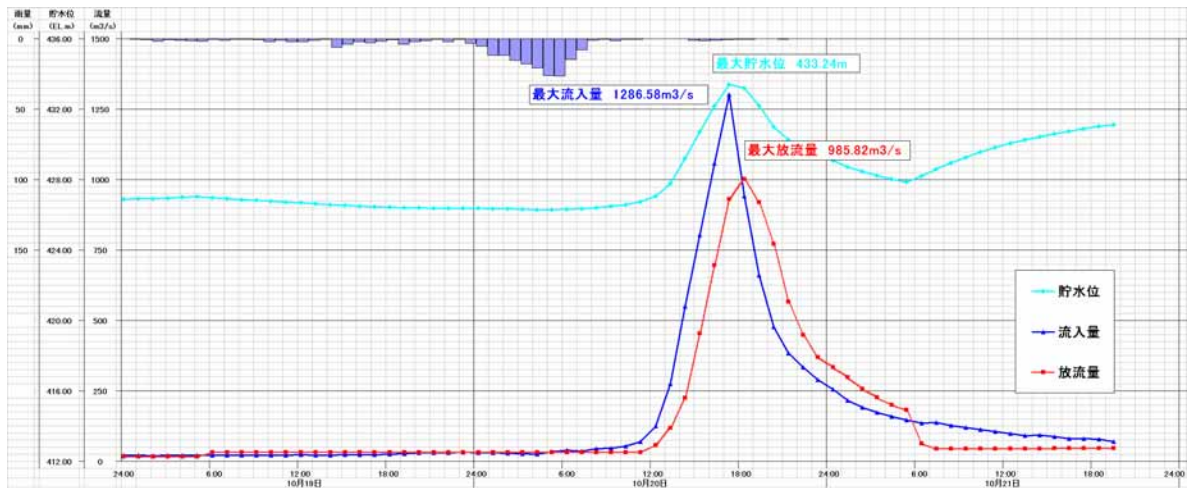


図 2.1 - 1 猿谷ダムの流水調節実績（平成 16 年台風 23 号）

出典：資料 2-1

また、平成 17 年の台風 14 号の出水時には、ダム下流の宇井地区の地すべり対策工事（奈良県施工）に協力するため、図 2.1 - 2 に示すとおりダムの空き容量の範囲内で下流河川に配慮した流水調節を行った。（その時の最大放流量は、約 572 m^3/s ）

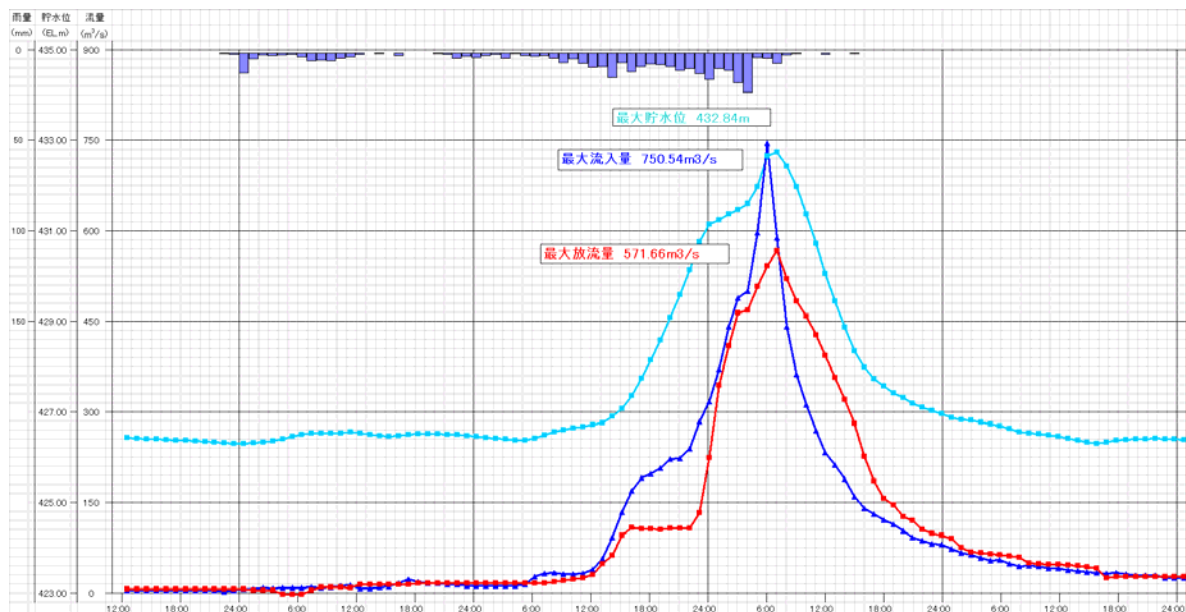


図 2.1 - 2 猿谷ダムの流水調節実績（平成 17 年台風 14 号）

出典：資料 2-1

2.2 まとめ

猿谷ダムは洪水調節機能を持たないが、平成 16 年の台風 23 号の出水時および平成 17 年の台風 14 号の出水時には奈良県施工工事への協力のため、空き容量の範囲内で流水調節を実施した。

< 今後の方針 >

空き容量の範囲内で下流河川の状況に配慮した操作を行うこととする。

2.3 文献リスト

表 2.3 - 1 使用した文献・資料リスト

No.	報告書またはデータ名	発行者	発行年月日	箇所
2-1	熊野川懇談会（猿谷ダム説明資料） PPT	紀の川ダム統合 管理事務所	平成 17 年 6 月 4 日	猿谷ダムの運用